

討議資料

宇田川よしひで

市議会ニュース

vol.47
2014年7月

川口市議会議員

宇田川 好秀

平成26年第2回

6月市議会定例会

市政に関する報告

所信と報告(抜粋)

平成26年6月5日～

6月26日までの22日間

市長提出議案

予算議案として、一般会計において、公立保育所耐震補強事業等に係る5億1116万5千円の補正、特別会計では、下水道事業特別会計、1億9435万2千円の補正をしました。

一般議案については、「川口市行政組織条例の一部を改正する条例」などの条例議案7件、財産の取得議案1件、専決処分の承認議案3件、市道路線の認定・廃止議案9件、人事議案3件の23件です。なお、人事議案3件の内容といたしましては、人権擁護委員の候補者の推薦についてです。

報告事項は8件で、公用自動車による事故に係る損害賠償の額を決定する専決処分の報告について3件、継続費繰越計算書について(一般会計)1件、繰越明許費繰越計算書について(一般会計・下水道・区画整理)3件、予算繰越計算書について(水道)1件です。

その他、議会側の動静により、最終日に追加として、議会選出監査委員の選任同意(市長提出)、農業委員会委員の推薦(議長指名)、戸田競艇組合議会議員の選挙(議長指名)

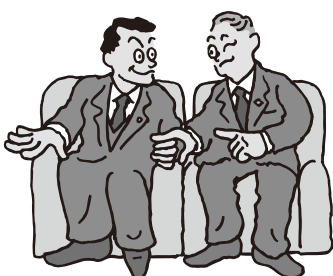
※川口市副市長の選任議案が追加提出され最終日に同意されました。

一般質問

13・16・17・18日に自民党5人、公明党3人、川口新風会2人、共産党3人、市政クラブ1人、無所属1人の計15人が質問に立ちました。

各常任委員会

20日に総務・建設常任委員会、23日に福祉環境・経済文教常任委員会が開催されました。



議場における

避難訓練について

昨年、一昨年と議場における避難訓練を実施しましたが、今年度も6月議会一般質問最終日の散会後に、訓練を実施しました。

訓練は、昨年同様、はじめにシェイクアウト訓練を実施し、大扉から通路を通り、本庁舎ロビー階段を降り、正面玄関から避難する方法と、議場南側テラスに出て、非常階段から避難する方法の2つの経路で訓練を実施しました。

訓練概要

はじめに、緊急地震速報(エリアメール)が議場内に流れ、大きな揺れを感じたとして、議長より「暫時休憩」の宣告後、シェイクアウト訓練を実施。(ヘルメットを着用し、揺れが収まるまで机の下に避難し、身の安全を確保)

その際、議場内が停電したと想定し、照明を落とし、カーテン及び非常口、議場扉を開ける旨のアナウンス後、カーテンを開け机の横にあるセンサーライトを議員が触れて照度を確保し、傍聴席の左端に設置されている非常階段を設置。

避難経路の確保ができ、揺れが収まったと想定後、避難開始のアナウンスと同時に避難を開始。

なお、今年度は、執行部職員が傍聴者役となり、実際に傍聴席からの避難誘導を実施しました。

避難場所につきましては、昨年度同様、本庁舎ロータリーの庁舎管理室前として集合。

また、今年度は新たに、避難後、会派ごとの避難状況を確認していただき、事務局次長まで報告することとし、安否確認も行いました。(無所属議員は自身で直接、事務局次長まで報告)

安全の確認が取れたところで、議長から訓練終了の宣告。

第5次川口市総合計画の策定について

現行の第4次川口市総合計画は、平成22年4月から34年3月までを計画期間とし、現在、様々な施策に取り組んでいるところです。

しかしながら、平成23年10月に鳩ヶ谷市と合併し、また、市長が代わり、この度中核市への移行を新たな目標としましたことから、これ

らに対応し、市民と行政が一体となつて目指すべき将来像を掲げた新たな計画が必要となりました。

そうしたことから、第4次川口市総合計画の計画期間中ではあります、平成28年度から第5次川口市総合計画としてスタートすべく、平成26・27年度の2力年で新たな総合計画を策定したいとのことでした。

また、第5次川口市総合計画の策定にあたっては、川口市自治基本条例の趣旨を尊重し、時代の変化を考慮に入れ、多くの市民参加を心がけ、「元氣なまち川口」の実現を目指した総合計画とするのとこととした。

市立小・中学校及び幼稚園へのエアコン設置について

昨年、夏季に実施した市内小・中学校の室温調査では、多くの学校で30℃を超え、38℃に達する教室もありました。

これまで、本市におきましては、「エアコンを設置すべき」という意見がある一方で、子どもの体温調節機能の低下や外遊びの減少など、将来

的な健康への影響を懸念する意見もあり、様々な角度から検討し、議論を重ねた結果、窓を開けて通風を確保することが困難な音楽室、パソコン教室、図書室の特別教室へのエアコン設置計画を策定し、今年度から実施の予定でした。



しかしながら、学校は児童・生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、児童・生徒の健康と学習環境の向上を図るためには、普通教室にもエアコンが必要です。

そこで、全教室へのエアコン設置にあたりまして、様々な導入方法を検討した結果、最も短期間で設置が可能であるリース方式による設置計画を新たに策定しました。また、特別教室へのエアコン設置計画につきましては、これを見直し、

新たな計画とし、今年度は設置に関する調査にあて、第1期として、平成27年夏季までに中学校及び幼稚園に、第2期として、28年夏季までに小学校にエアコンを設置する方向で進めて行くことになります。



対 象

小学校51校の約1450教室
中学校25校の約750教室
市立幼稚園2園の約20教室

リース費用

平成27年度設置予定の中学校及び幼稚園分として約23億円、平成28年度設置予定の小学校分として約40億円を見込み、それぞれ10年間（120か月）かけて支払うもの。

新市立高等学校について

新市立高等学校につきましては、昨年4月から6月にかけて公募型プロポーザル方式により設計業者を選定し、同年7月から基本設計に着手いたしました。基本設計の策定にあたりましては、生活福祉・教育問題特別委員会をはじめ、地元町会、新市立高校開設検討委員会などから、貴重なご意見をいただくとともに、関連する県内外の先進校を視察するなど、総合的に検討を重ね、この度、完了したところです。



新市立高等学校の特徴は、公民館用地や廃道部分などの取得により、敷地が約3800㎡増加することと併せ、生徒同士の賑わいや交流を深めるための新たな導線として、敷地の東西を貫く（仮称）キャンパスロード」を配置、校舎棟の内部は2階から最上階までを吹き抜け空間とし、その上部に設置した「膜屋根」によって明るく開放的なスペースを創り出した他、災害時における避難所機能を備えた施設となるよう、基本設計を行なったところです。

子ども医療費支給事業について

平成25年10月から支給制限が実施されていましたが、消費税の引き上げによる子育て家庭への影響の緩和、及び市税等の納付が困難である子育て家庭に対する支援の充実を図り、小中学生が安心して医療を受けられるよう更なる整備を図るため、支給制限を緩和します。

平成26年10月1日より、児童に係る医療費について、所得制限を撤廃するとともに、当該児童の保護者またはその配偶者のいずれかが市税を滞納している場合であっても、家庭の状況等により支援が必要であると市長が認めるものについては、医療費を支給する事とするもの

予 算

財源→全額市費
事業総額→2億7407万9千円
（年額）見込

※このレポートは市長の所信と報告を抜粋加筆して作成しております。

FAX送信用紙

市政全般について、あなたのご意見をお待ちしております

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

フリガナ			
お名前			
ご住所	(〒 -)		
ご連絡先	電話番号		FAX
	携帯電話		Eメール

編輯発行

川口市議会議員

宇田川 好秀

埼玉県川口市安行1117

TEL.048-294-3131 FAX.048-296-7070

印刷/コスモプリント株式会社

市政情報
発信



川口市議会議員
宇田川 好秀
Udagawa Yoshhide Official Web
皆様の手足となって働くをモットーに!

川口市議会議員 宇田川よしひでのページ
宇田川レポート

・歯科口腔保健の推進に関する条例（平成24年4月1日）

・歯科口腔保健の推進に関する条例の解説（平成24年4月1日）

・宇田川よしひで市議会ニュースvol.36（平成24年3月31日）

活動情報を掲載！
ブログも随時更新！

宇田川レポート更新中!!

<http://gakkainavi.com/udagawa/report.html>

宇田川よしひで宛

FAX.048-296-7070